

科目名	REL210: キリスト教文化入門				担当教員	小林 宏子	
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4204	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、その後、リアクションペーパーを書くことを基本形とする。授業に必要な資料は画面共有を通して確認しながら行う。講師によっては、学生間の話し合いの機会をブレイクアウト・ルームで行う場合もある。教員の資料掲出及び学生の事前課題提出は Moodle を通して行い、リアクションペーパーの提出は Google フォームを用いる。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 事前課題 (1.5%×20回=30%)、リアクションペーパー (1.5%×24回=36%) 期末レポート (20%)、研究発表 (14%)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 事前課題：指定された内容、字数、期限に従って Moodle に提出したかどうか。 リアクションペーパー：授業を正しく理解し、学んだことの要点をまとめ、自分の関心や問題意識を反映させた見解を、論理的に記述できたかどうか。 期末レポート：授業で扱ったテーマについて、一つの問いを提起し、最低一冊の参考文献を読んで考察し、その文献の趣旨を踏まえて自分の考えを論理的に述べるができるかどうか。 研究発表：期末レポートで研究した成果を、指定された時間内に分かりやすくまとめて発表できるかどうか。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス：講義概要と課題の説明ユダヤ教とキリスト教 (1) 唯一神信仰	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキストはじめに～p.9を読む
2	ユダヤ教とキリスト教 (2) メシア思想、終末論、律法主義	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.9-18 を読みまとめる
3	ナザレのイエス (1) 神の国の宣教、奇跡物語	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.19-39 を読みまとめる
4	ナザレのイエス (2) 律法学者との対立、十字架上の死	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.38-58 を読みまとめる
5	キリスト教と音楽 (1) 神の民の賛美と教会音楽	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.59-80 を読みまとめる
6	キリスト教の歴史 (1) ローマ帝国による迫害と国教化	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.80-98 を読みまとめる
7	キリスト教と音楽 (2) 典礼音楽と楽譜のかかわり	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.99-108 を読みまとめる
8	キリスト教の典礼ミサ聖祭、教会の暦	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.127-137 を読みまとめる
9	キリスト教のシンボル、美術	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.162-176 を読みまとめる
10	キリスト教の歴史 (2) 東西教会の分裂	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.111-125, 155-162 を読みまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	修道院の文化的貢献	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.108-111, 145-154 を読みまとめる
12	イエズス会のヒューマニズム (1) イエズス会の宣教	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.138-144, 177-182 を読みまとめる
13	イエズス会のヒューマニズム (2) イエズス会の霊性：霊操と共同識別	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.183-199 を読みまとめる
14	イエズス会のヒューマニズム (3) イエズス会の教育の特徴	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.199-206 を読みまとめる
15	時代の必要に応えた人びと (1) アシジの聖フランチェスコ	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.206-214 を読みまとめる
16	聖マリアについての伝承と祭り	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.215-220 を読みまとめる
17	キリスト教と哲学 (1) 知解を求める信仰とその系譜	講義・質疑応答、リアクションペーパー	聖アウグスチヌについて調べる
18	キリスト教の倫理 (1) いのちの倫理	講義・質疑応答、リアクションペーパー	教皇フランシスコの生命倫理に関する教えを調べる
19	キリスト教の倫理 (2) 平和への歩み	講義・質疑応答、リアクションペーパー	教皇フランシスコの自然環境に関する教えを調べる
20	エキュメニズム運動の歴史と現在	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.226-236 を読む
21	キリスト教と仏教 (1) 「十牛図」に見る己事究明	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末レポートの準備
22	キリスト教と哲学 (2) 真理への愛、エディット・シュタインの思想と生涯	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末レポートの準備
23	キリスト教と仏教 (2) 宗教とは何か 「問われた者」として生きる	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末レポートの準備
24	時代の必要に応えた人びと (2) コルカタの聖テレサ (マザー・テレサ)	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末レポートの提出
25	研究発表 (1)	発表と講評、	研究発表の準備
26	研究発表 (2)	発表と講評、	研究発表の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	研究発表 (3)	発表と講評、	研究発表の準備
28	キリスト教と現代	講義、レポート返却、講評	テキスト pp.221-226 をよみまとめる

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	授業には主体的な関心を持って参加して欲しい。なお講師の都合により、授業内容及び順序に変更が生じる可能性がある。すでに、第 21 回と第 22 回の講義の入れ替えが生じた。
-------------	---

科目名	IDS210: 異文化間コミュニケーション				担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4205	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	The class will meet on Zoom at the scheduled time. As much as possible, the class will be held similar to how it would be held in a classroom, with lectures by the teacher “live” via Zoom, opportunities for students to interact during class time, etc. Homework and other materials will be provided to students via Loyola and/or Google Documents. Students will submit assignments via Google Forms/Documents and/or Loyola. Tests will be completed using Google Forms.
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	Participation 20%, Homework 40%, Tests (including final exam) 40%.
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> • Participation: active participation in everyday class activities, including lectures and discussions; responses in in-class writing activities that demonstrate engagement with class content. • Homework: submitted on time and according to instructions, thoroughly completed, provides factual description where required, demonstrates appropriate application of concepts covered in class. • Tests: demonstrate ability to understand key concepts related to ICC and how they apply to specific examples, demonstrate ability to explain ways that specific situations of intercultural communication are related to broader social and historical contexts and issues.

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview	Lecture	Read course syllabus thoroughly, review class notes
2	Defining intercultural communication	Lecture, pair work	Read p. 34, review syllabus & class notes
3	“Culture” in intercultural communication	Lecture, pair work	Read pp. 9-10, 12-13; skim pp. 13-27; review class notes
4	Features of human communication: basic concepts	Lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71; review class notes
5	Features of human communication: meaning and context	Lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71; review class notes
6	Communication and language: language and thought	Lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; read pp. 77-79, 83
7	Communication and language: aspects of meaning	Lecture, pair work	Read pp. 77-79, 83; review class notes
8	Non-verbal communication: silence	Lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
9	Non-verbal communication: functions	Lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
10	Edward T. Hall: the first interculturalist	Lecture, pair work	Read pp. 49-50, 56, 96, 133; Write “ICC Experience” HW
11	Stereotypes: basic concepts	Lecture, pair work	Read pp. 152-153; review class notes

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	Stereotypes: aspects and effects	Lecture, pair work	Read pp. 152-153; review class notes
13	Values: basic concepts	Lecture, pair work	Read pp. 16-19, 42-49; review class notes
14	Values: kinds of values	Lecture, pair work	Write “ICC Experience” HW & “values” HW
15	Culture shock: definition, symptoms, varieties	Lecture, pair work	Read pp. 158-165; review class notes
16	Communication “events”: basic concepts; preparation for Test #1	Lecture, pair work	Write “culture shock” homework; review class notes
17	Review; Test #1	Lecture, written exam	Study for test
18	Communication “events”: dimensions of norms	Lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; review class notes
19	Intercultural training: principles and methods	Pair work, lecture	Read Ch. 16, especially pp. 186-187; review class notes
20	Intercultural simulation: do in class	Small-group discussion	Read handouts about simulation
21	Intercultural simulation: follow-up discussion	Small-group discussion, lecture	Write “ICC Experience” homework; review class notes
22	Social and historical contexts of intercultural communication: Quebec	Lecture, pair work	Review class notes
23	Social and historical contexts of intercultural communication: U.S. South	Lecture, pair work	Review class notes
24	Return Test #1 and go over results; preparation for Test #2 (final exam)	Lecture, pair work	Review textbook pages covered, handouts, class notes
25	Social and historical contexts of intercultural communication: American Indians	Lecture, pair work	Review class notes
26	Power and inequality in intercultural communication	Lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; review class notes
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Practical implications for the study of ICC; paths toward better knowledge and understanding of others	Lecture, pair / group work	Review class notes
28	Return Test #2 (final exam) and go over results; semester recap, including course evaluation	Lecture, small-group discussion	Write “ICC Experience” homework

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English. Depending on whether it is feasible to conduct the intercultural simulation (class 20) via Zoom, the content of classes 20 and 21 may be modified. Any changes in this regard will be announced in class.
-------------	---

科目名	LIT201: 英文学概論				担当教員	山本 浩	
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4212	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ Zoomを用いたリアルタイム型の授業が25回、音声付のパワーポイントや映像配信などを用いたオンデマンド型の授業が3回。
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoomを用いたリアルタイム型の授業では、パワーポイント資料を事前に配布し、その資料を用いながら講義していく。オンデマンド型の授業では、パワーポイント資料を配布し、受講者はその資料に解説の音声をつけた動画を見て学修する。リアルタイム型、オンデマンド型のいずれも、授業終了時にリアクション・ペーパーの提出を求める。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	テストおよび定期試験：50% 小論文：30% 授業への積極参加：20%
評価基準	テストおよび定期試験：授業で取り上げた作品をきちんと読んでいるか、作品の技法と内容、テーマ、作者と時代背景をよく理解しているかを見る。 小論文：課題に沿った内容であるか、よく考えられた議論を展開しているかを見る。 授業への積極参加：授業での質問・発言・意見表明など（リアクション・ペーパーの記述も含む）を積極的に行なったかを見る。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	英文学への導入、とくに文学史と文学ジャンルについて	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	詩—Shakespeare, Sonnet 18	講義（作品の背景と詩の技法）と講読	講読する詩について配布資料を使って予習する
3	詩—John Donne, “A Valediction: Forbidding Mourning”	講義（作品の背景と詩の技法）と講読	講読する詩について配布資料を使って予習する
4	詩—William Wordsworth, “I wandered lonely as a cloud”	講義（作品の背景と詩の技法）と講読	講読する詩について配布資料を使って予習する
5	詩—John Keats, “Ode to a Nightingale”	講義（作品の背景と詩の技法）と講読	講読する詩について配布資料を使って予習する
6	詩—Matthew Arnold, “Dover Beach”	講義（作品の背景と詩の技法）と講読	講読する詩について配布資料を使って予習する
7	詩—G. M. Hopkins, “God’s Grandeur” and “The Windhover”	講義（作品の背景と詩の技法）と講読	講読する詩について配布資料を使って予習する
8	テスト（45分）とふりかえり（45分）	テスト実施と試験問題を使っての復習	テストのための準備学習
9	ふりかえり	試験問題を使っての復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
10	英文学における劇、とくにその歴史について	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
11	劇—Shakespeare, <i>Hamlet</i> から、 <i>Hamlet</i> の独白を読む。	講義（作品の背景と劇の技法）と講読	講読する劇について配布資料を使って予習する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	劇—Shakespeare, <i>Hamlet</i> から “nunnery scene” を読む。	講義（作品の背景と劇の技法）と講読	講読する劇について配付資料を使って予習する
13	劇—Shakespeare, <i>Hamlet</i> から “graveyard scene” を読む。	講義（作品の背景と劇の技法）と講読	講読する劇について配付資料を使って予習する
14	劇—Oscar Wilde, <i>The Importance of Being Earnest</i> を読み、作者 Wilde について学ぶ。	講義（作品の背景と劇の技法）と講読	講読する劇について配付資料を使って予習する
15	劇—Oscar Wilde, <i>The Importance of Being Earnest</i> を読み、この劇の面白さを考える。	講義（作品の背景と劇の技法）と講読	講読する劇について配付資料を使って予習する
16	劇—Samuel Beckett, <i>Waiting for Godot</i> を読み、不条理演劇について学ぶ。	講義（作品の背景と劇の技法）と講読	講読する劇について配付資料を使って予習する
17	劇—Samuel Beckett, <i>Waiting for Godot</i> を読み、Godot とは何者かについて考える。	講義（作品の背景と劇の技法）と講読	講読する劇について配付資料を使って予習する
18	テスト（45分）とふりかえり（45分）	テスト実施と試験問題を使っての復習	テストのための準備学習
19	ふりかえり	試験問題を使っての復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
20	英文学における小説、とくにその成立と展開について。	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	小説—Charles Dickens, <i>Oliver Twist</i> の抜粋を読み、この小説の時代背景を学ぶ。	講義（作品の背景と小説の技法）と講読	講読する小説について配付資料を使って予習する
22	小説—Charles Dickens, <i>Oliver Twist</i> を読み、作者 Dickens について学ぶ。	講義（作品の背景と小説の技法）と講読	講読する小説について配付資料を使って予習する
23	小説—Charles Dickens, <i>Oliver Twist</i> を読み、この小説のテーマを考える。	講義（作品の背景と小説の技法）と講読	講読する小説について配付資料を使って予習する
24	小説—Graham Greene, <i>The Heart of the Matter</i> を読み、作者 Greene について学ぶ。	講義（作品の背景と小説の技法）と講読	講読する小説について配付資料を使って予習する
25	小説—Graham Greene, <i>The Heart of the Matter</i> を読み、この小説のキリスト教を考える。	講義（作品の背景と小説の技法）と講読	講読する小説について配付資料を使って予習する
26	小説—Graham Greene, <i>The Heart of the Matter</i> を読み、この小説のテーマを考える。	講義（作品の背景と小説の技法）と講読	講読する小説について配付資料を使って予習する
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	定期試験のふりかえり	試験問題を使っての復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
28	小論文の講評と論文の書き方の指導	小論文を返却し講評する	返却された小論文を読み直す

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	LNG200: 言語学概論				担当教員	神谷 雅仁	
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4215	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zoom による教員の講義を中心に授業が進む。 ・ 授業冒頭の review の時間（前回授業の振り返り）などに学生は発言を求められる（質問に対する解答、自分の経験談、意見や考察など）。 ・ 教員からの資料掲出、および学生の課題提出は原則、Moodle を通して行う。 ・ 授業期間内に行う中間テストおよび期末テストは Google form と Moodle の 2 つのプラットフォームをセクションごとに使って実施する客観式テストである。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	▶中間試験（30%）、定期試験（40%）、▶Book Report（20%）、▶授業参加度（10%）
評価基準	<p>▶ 中間試験、および期末試験（客観式）：試験までの学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかが問われる。特に記述形式の問題については、用語／概念の定義に始まり、言語例を用いた説明がしっかりなされているか、そして指示に従ったかたちで過不足なく論じられているかが問われる。</p> <p>▶ Book Report：Booklist にある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約（書かれている内容を理解した上で、章や節ごとにしっかりとまとめられているか）と自分の見解（どのような発見があったか、どのような疑問が浮かんできたか、どのような課題が見つかったかなどについて分析的、批判的に論述できているか）を含めたブックレポートとなっているか。</p> <p>▶ 授業参加度：授業内での課題の提出（Unit Review）と発言の回数および内容の正確性／妥当性</p>

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & the study of language 本講を概観する&言語を研究するとは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト全体に目を通す 「はじめに」に目を通す
2	What is Language? 人間にとって言語とは何か？	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキストを読む（ch. 1-2）、 レジュメの予習・復習
3	What is Language? 言語の定義	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキストを読む（ch. 1-2）、 レジュメの予習・復習
4	What is Language? 言語の特性	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
5	What is Linguistics? 言語学という分野	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
6	History of English 英語の歴史：古英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 3-5）、 レジュメの予習・復習
7	History of English 英語の歴史：中英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 3-5）、 レジュメの予習・復習
8	History of English 英語の歴史：近代英語	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
9	Phonetics 音声学：言語音	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 8-9）、 レジュメの予習・復習
10	Phonology 音韻論：音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 8-9）、 レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	Phonology 音韻論：超分節音素	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
12	Morphology 形態論：形態素とは Review 前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 10）、レジュメの予習・復習
13	Mid-term Test 中間試験 Morphology 形態論：異形態	講義、質疑応答試験実施	レジュメの復習、前半内容の見直し、テスト準備
14	Test review 試験結果の返却、および解説 Morphology 形態論：語形成	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
15	Syntax 1 統語論 1：伝統文法と構造主義言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
16	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：言語観・アプローチ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
17	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：句構造規則と変形規則	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
18	Semantics 意味論：語の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 13-16）、レジュメの予習・復習
19	Semantics 意味論：句・文の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
20	Pragmatics 語用論 語用論とは：基本概念	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 17-20）、レジュメの予習・復習
21	Pragmatics 語用論 発話行為、会話の含意	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
22	Communication and culture 文化と文脈、コミュニケーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 21-22）、レジュメの予習・復習
23	Sociolinguistics 社会言語学 言語のバリエーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 6 & 23-24）、レジュメの予習・復習
24	Sociolinguistics 社会言語学 言語政策・計画	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
25	Second Language Acquisition 第二言語習得 外国語教授法	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 25）、Book Report の作成、
26	Second Language Acquisition 第二言語習得 様々な第二言語習得理論 Review まとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの復習、後半内容の見直し、テスト準備
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Think about language and human mind 言語と心について考える	講義、ディスカッション、質疑応答	言語に関連する配布物の予習
28	Test review 定期試験の返却、および解説 Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	テスト問題の見直し

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	本講は言語研究領域に属する専門科目、および言語系のゼミナール受講への基礎知識を与えるものである。
-------------	--

科目名	GMN101: ドイツ語 I				担当教員	工藤 花野
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、学生間の対話形式の発音練習（ブレイクアウト・ルーム）を中心に授業を進める。指定のテキストを中心に進めるが、必要に応じた別資料、授業内容のまとめ等は原則として OneDrive 上で公開する。学生の課題提出および試験は Moodle を通して行う。学生は、授業内での課題および各回終了時に出される課題を次回の授業予習を兼ねて Moodle 上に提出し、その内容を授業内で発表・解説する。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更あり】

評価方法	授業参加の積極性（15%）、授業毎の課題提出（15%）、授業内試験（35%）、定期試験（35%）
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参加（課題解答により文法と発音力、ペアワークにより表現・聞き取る力を確認） ・ 課題提出（授業毎の課題提出により、授業内容・文法事項・進出語彙の理解を確認） ・ 試験（授業内試験と定期試験により、文法・読み・書き・発音の力を確認）

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入、授業概要の説明 アルファベットと発音・挨拶・数字	演習（発音）	テキスト（以下略）S.7-9の整理、次回提出用課題準備 1
2	[Lektion 1] 出会いと自己紹介 動詞の現在人称変化（語順 1）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.10, 13 の整理 次回提出用課題準備 2
3	[Lektion 1] 出会いと自己紹介 sein の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.11, 13 の整理 次回提出用課題準備 3
4	[Lektion 1] 出会いと自己紹介 会話と作文・会話表現 1（自己紹介）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.12, 13, 76 の整理 次回提出用課題準備 4
5	[Lektion 2] 家族について尋ねる 名詞の性と定冠詞の格変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.14, 17 の整理 次回提出用課題準備 5
6	[Lektion 2] 家族について尋ねる 不定冠詞の格変化と haben の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.15, 17 の整理 次回提出用課題準備 6
7	[Lektion 2] 家族について尋ねる 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.16, 17 の整理 次回提出用課題準備 7
8	[Lektion 3] 明日の予定を尋ねる 不規則動詞の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.18, 21 の整理 次回提出用課題準備 8
9	[Lektion 3] 明日の予定を尋ねる 命令形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.19, 21 の整理 次回提出用課題準備 9
10	[Lektion 3] 明日の予定を尋ねる 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.20, 21 の整理 次回提出用課題準備 10
11	[Lektion 4] 買い物に行く（1） 定冠詞類	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.22, 25 の整理 次回提出用課題準備 11
12	[Lektion 4] 買い物に行く（1） 不定冠詞類・所有冠詞・否定冠詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.23, 25 の整理 次回提出用課題準備 12

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	[Lektion 4] 買い物に行く (1) 会話と作文・会話表現 2 (趣味と家族)	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.24, 25, 76 の整理試験準備 (S.7-25, 76, 77)
14	Lektion 1-4 の総括・質疑応答 (30分) 授業内試験 (60分)	質疑応答 試験	S.7-25, 76, 77 の整理
15	Lektion 1-4 の総括・試験解答 [Lektion 5] 買い物に行く (2) 複数形	試験解答、試験返却、 演習	S.26, 29 の整理 次回提出用課題準備 13
16	[Lektion 5] 買い物に行く (2) 人称代名詞の格変化・3格と4格の語順	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.27, 29 の整理 次回提出用課題準備 14
17	[Lektion 5] 買い物に行く (2) 会話と作文・会話表現 3 (数字と買い物)	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.28, 29, 42, 43, 78 の整理 次回提出用課題準備 15
18	[Lektion 6] 週末の予定を尋ねる 2格・3格・4格支配の前置詞	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.30, 33 の整理 次回提出用課題準備 16
19	[Lektion 6] 週末の予定を尋ねる 3・4格支配の前置詞・定冠詞との融合形	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.31, 33 の整理 次回提出用課題準備 17
20	[Lektion 6] 週末の予定を尋ねる会話と作文・会話表現 4 (予定)	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.32, 33, 78, 79 の整理 次回提出用課題準備 18
21	[Lektion 7] 趣味について尋ねる形容詞の格変化 (無冠詞型)	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.34, 37 の整理 次回提出用課題準備 19
22	[Lektion 7] 趣味について尋ねる形容詞の格変化 (定冠詞・不定冠詞)	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.35, 37 の整理 次回提出用課題準備 20
23	[Lektion 7] 趣味について尋ねる会話と作文	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.36, 37 の整理 次回提出用課題準備 21
24	[Lektion 8] 昼食を食べに行く話法の助動詞と現在人称変化	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.44, 47 の整理 次回提出用課題準備 22
25	[Lektion 8] 昼食を食べに行く話法の助動詞の構文 (語順 2)	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.45, 47 の整理 次回提出用課題準備 23
26	[Lektion 8] 昼食を食べに行く会話と作文・会話表現 5 (食事)	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.46, 47, 80 の整理試験準備 (S.26-37, 44-47)
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Lektion 5-8 の総括・試験解答 時刻と日付の表現	試験解答、試験返却、 演習	S.40, 42, 43, 78, 79 の整理 次回提出用課題準備 24
28	道案内の表現	演習 (発音、ペアワーク、ドリル、作文)	S.41, 79 及び配布物の整理

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと修得度が下がる上、ペアワークが滞るので毎回の出席が望ましい。また、辞書（紙／電子／オンライン）の用意を推奨する。また、課題提出の形式はオンライン記入およびファイル提出の二種類があるが、ファイル提出の際には元のファイル名の前に学籍番号を入れた形で提出すること。
-------------	--

科目名	FRN101: フランス語 I				担当教員	持地 秀紀
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoomによるリアルタイム型の授業で、教科書を用いながら、教員による解説と練習問題を中心に進める。学生には出題される練習問題に対して口頭で回答してもらう。また、ブレイクアウト・ルームを用いた会話練習なども実施するため、Zoom越しに会話ができる環境での受講が望ましい。課題や小テストなどの提出物は Moodle 上で提出してもらう。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	① 「口頭ドリル」や「発表」への積極参加（30%）。 ② 小テスト（20%）、授業内試験（20%）、定期試験（30%）。
評価基準	上記①に関して：授業の内容を理解した上で主体的に参加しているか。 上記②に関して：フランス語の基本単語および動詞活用法を正しく習得し、正しい綴りで筆記できているか。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業概要の説明 Leçon 0 アルファベ、発音と綴り	講義、口頭ドリル	Leçon 0 練習問題の復習
2	小テストと解説 Leçon 0 発音と綴り、数字の読み方	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 0 練習問題の復習
3	小テストと解説 Leçon 1 前置詞、エリジョン	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 1 練習問題の復習
4	小テストと解説 Leçon 1 前置詞と強勢形、リエゾン	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 1 練習問題の復習
5	小テストと解説 Leçon 2 疑問文	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 2 練習問題の復習
6	小テストと解説 Leçon 2 否定文	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 2 練習問題の復習
7	小テストと解説 Leçon 3 疑問詞 où	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 3 練習問題の復習
8	小テストと解説 Leçon 3 疑問詞 d'où	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 3 練習問題の復習、ペ ア発表準備
9	ペア発表（1） Leçon 4 動詞 être の活用と否定	講義、口頭ドリル、 小テスト、発表	Leçon 4 練習問題の復習、ペ ア発表準備
10	ペア発表（2） Leçon 4 形容詞	講義、口頭ドリル、 小テスト、発表	Leçon 4 練習問題の復習、ペ ア発表準備
11	ペア発表（3） Leçon 4 国籍	講義、口頭ドリル、 小テスト、発表	Leçon 4 練習問題の復習
12	小テストと解説 Leçon 5 名詞	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 5 練習問題の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	小テストと解説 Leçon 5 指示形容詞と所有形容詞	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 0-5 の総合的復習
14	授業内試験 Leçon 6 定冠詞、縮約	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 6 練習問題の復習
15	試験の返却、および解説 Leçon 6 動詞 aimer	講義、口頭ドリル、 小テスト	授業内試験および Leçon 6 練習問題の復習
16	小テストと解説 Leçon 7 不定冠詞、部分冠詞	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 7 練習問題の復習
17	小テストと解説 Leçon 7 動詞 avoir の活用	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 7 練習問題の復習
18	小テストと解説 Leçon 7 動詞 avoir の否定とゼロ冠詞	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 7 練習問題の復習
19	小テストと解説 Leçon 8 er 動詞の活用、自動詞	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 8 練習問題の復習
20	小テストと解説 Leçon 8 er 動詞の活用、他動詞	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 8 練習問題の復習
21	小テストと解説 Leçon 9 動詞 aller の活用	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 9 練習問題の復習
22	小テストと解説 Leçon 9 注意すべき er 動詞の活用	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 9 練習問題の復習
23	小テストと解説 Leçon 11 動詞 faire 他の活用	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 11 練習問題の復習
24	小テストと解説 Leçon 11 動詞 entendre 他の活用	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 11 練習問題の復習
25	小テストと解説 Leçon 10 ir 動詞の活用	講義、口頭ドリル、 小テスト	Leçon 10 練習問題の復習
26	小テストと解説 Leçon 10 動詞 venir の活用、自己紹介準備	講義、口頭ドリル、 小テスト	総合的復習
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	試験の返却、および解説 Leçon 10 第 2 群規則動詞の活用	講義、口頭ドリル、 小テスト	定期試験および Leçon 10 練習問題の復習
28	総括自己紹介発表	講義、発表	自己紹介の復習

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SPN101: スペイン語 I				担当教員	大堂 果林	
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答を中心に授業を進める。教員による講義に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。教員の資料掲出、及び課題提出は Moodle を通して行う。定期試験はテキストとノートの持ち込みを許可する形で行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①定期試験：40%、②小テスト：10%、③授業への積極参加：25%、④授業外の課題：25%
評価基準	①定期試験：授業内容を理解し、スペイン語の運用能力が身についているかを評価する。 ②小テスト：單元ごとに短文テストを実施し、授業外の課題に取り組む態度を評価する。 ③授業への積極参加：正解・不正解を問わず、しっかりと考えて回答しているか。また、質問や意見、ペアワークへの積極参加など「主体的に学ぶ姿勢」も評価する。 ④授業外の課題：授業内容を理解したうえで、授業内で指示する練習問題の課題を確実にこなしているかを評価する。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	スペイン語とスペイン語圏の紹介	講義、質疑応答	シラバスの確認
2	Unidad 1 挨拶、アルファベット、発音	講義、練習問題、ペアワーク	挨拶の復習
3	Unidad 1 発音、アクセント、注意の必要な綴り	講義、練習問題、ペアワーク	発音の復習
4	Unidad 1 固有名詞、数字	講義、練習問題、ペアワーク	発音・アクセントの復習
5	Unidad 1 挨拶の表現（名前の自己紹介）	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 1 の総復習
6	Unidad 2 名詞の「性」と「数」 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 1 短文テストのための予習
7	Unidad 2 定冠詞、主語代名詞	講義、練習問題、ペアワーク	名詞の性と数の復習
8	Unidad 2 動詞 ser の直接法現在形疑問文と否定文	講義、練習問題、ペアワーク	動詞 ser の直接法現在形疑問文と否定文の復習
9	Unidad 2 数字・職業・国籍を表す表現	講義、練習問題、ペアワーク	数字・職業・国籍を表す表現の復習
10	Unidad 3 不定冠詞、品質形容詞 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 2 短文テストのための予習
11	Unidad 3 所有詞前置形、動詞 tener の直接法現在形	講義、練習問題、ペアワーク	不定冠詞、品質形容詞の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	Unidad 3 疑問詞	講義、練習問題、ペ アワーク	所有詞前置形、動詞 tener の 直接法現在形の復習
13	Unidad 3 数字・家族を表す表現	講義、練習問題、ペ アワーク	疑問詞の復習
14	Unidad 4 指示形容詞、指示代名詞 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペ アワーク	Unidad 3 短文テストのための 予習
15	Unidad 4 動詞 estar の直接法現在形	講義、練習問題、ペ アワーク	指示形容詞、指示代名詞の復 習
16	Unidad 4 動詞 haber の用法	講義、練習問題、ペ アワーク	動詞 estar の直接法現在形の 復習
17	Unidad 4 場所を表す副詞、序数	講義、練習問題、ペ アワーク	動詞 haber の用法の復習
18	Unidad 5 規則動詞の直接法現在形 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペ アワーク	Unidad 4 短文テストのための 予習
19	Unidad 5 規則動詞の直接法現在形の復習不 規則動詞の直接法現在形	講義、練習問題、ペ アワーク	規則動詞の直接法現在形の復 習
20	Unidad 5 不規則動詞の直接法現在形の復習 現在形の用法、疑問詞	講義、練習問題、ペ アワーク	不規則動詞の直接法現在形の 復習
21	Unidad 5 曜日、頻度を表す副詞表現	講義、練習問題、ペ アワーク	現在形の用法、疑問詞の復習
22	Unidad 6 前置詞 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペ アワーク	Unidad 5 短文テストのための 予習
23	Unidad 6 未来を表す表現（ir a +不定詞）	講義、練習問題、ペ アワーク	前置詞を使った表現の復習
24	Unidad 6 語幹母音変化動詞、動詞 salir と 動詞 venir の活用	講義、練習問題、ペ アワーク	未来を表す表現（ir a +不定 詞）の復習
25	Unidad 6 時間・月と季節・交通機関を表す 表現	講義、練習問題、ペ アワーク	語幹母音変化動詞、動詞 salir と動詞 venir の活用の復習
26	第 25 回までの授業内容のまとめ小テス ト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペ アワーク	Unidad 6 短文テストのための 予習
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	スペイン語圏の文化・習慣	講義、質疑応答	スペイン語圏についての復習
28	定期試験の返却と解説、全体のまとめ	返却、講義、質疑応 答	第 27 回までの授業内容の復 習

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	継続的に復習し、授業中は積極的に発言することが望ましい。辞書を購入し、毎回持参することを推奨する。
-------------	---

科目名	CHN101: 中国語 I				担当教員	廣重 聖佐子	
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	<p>Zoom を用いたリアルタイム型の授業である。</p> <p>①各課1回目の授業では、文法解説の後に課題を提出する。和訳は word に訳文を入力。練習問題は PDF をプリントアウトし、中国語を「手書き」したものをスマートフォン撮影してそれぞれ Moodle に提出する。（パソコンでの入力は認めない）</p> <p>②2回目の授業では、先ず前回の課題の解説をし、その後ブレイクアウト・ルームで読トレ部分の音読練習をし、その後に音読テストをする。</p> <p>③3回目の授業ではチャレンジや拡張表現を用いた会話の練習をする。</p> <p>④授業内試験は、Zoom 上にパワーポイントで問題を出题する。予め PDF をプリントアウトした解答用紙をスマートフォンで撮影し Moodle に提出する。</p>
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	<p>① 授業内課題：授業内提出物、宿題プリント（20%）</p> <p>② 音読テスト：各課終了時と 28 回目の授業（10%）</p> <p>③ 授業内試験：2 回の筆記試験（70%）</p>
評価基準	<p>① 授業内課題：各授業終了時に提出。宿題プリントの提出。遅れた場合は減点。</p> <p>② 音読テスト：28 回目に課題の音読テストをする。ピンインが読めない場合は減点。</p> <p>③ 授業内試験：12 回と 27 回目に実施。学習した単語と文法事項が理解できているか。</p>

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	中国語ガイダンス	発音練習と解説	p10～p16 復習と音読練習
2	発音 声調・軽声・短母音・複母音	発音練習と解説	p17～p21 復習と音読練習
3	発音 子音①②	発音練習と解説	p23～p28 復習と音読練習
4	発音 鼻母音・ピンインのまとめ	発音練習と解説	p29～p40 復習と音読練習
5	第1課 人称代名詞、名前の聞き方、名乗り方、動詞「是」、副詞「也」、「都」の解説	単語と文法解説	1 課の単語と文法の確認宿題プリント
6	第1課 人称代名詞、名前の聞き方、名乗り方、動詞「是」、副詞「也」、「都」の音読	音読練習とテスト	音読練習総合問題とチャレンジ
7	第1課 人称代名詞、名前の聞き方、名乗り方、動詞「是」、副詞「也」、「都」の会話	宿題の解説会話練習	1 課の復習
8	第2課 動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連体修飾語の「的」の解説	単語と文法解説	2 課の単語と文法の確認宿題プリント

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	第2課 動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連体修飾語の「的」の音読	音読練習とテスト	音読練習総合問題とチャレンジ
10	第2課 動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連体修飾語の「的」の会話	宿題の解説会話練習	2課の復習
11	前半の復習 文法と練習問題の復習、音読テストと提出物の期限	復習と試験内容の告知	中国語のガイダンス（指定の部分）から2課までの復習
12	授業内試験①	筆記試験 3課の準備	中国語のガイダンス（指定の部分）から2課までの復習
13	第3課 動詞「在」と「有」、方向詞①、名詞述語文、文末助詞の「了」の解説	単語と文法の解説	3課の単語と文法の確認宿題プリント
14	第3課 動詞「在」と「有」、方向詞①、名詞述語文、文末助詞の「了」の音読	音読練習とテスト	音読練習総合問題とチャレンジ
15	第3課 動詞「在」と「有」、方向詞①、名詞述語文、文末助詞の「了」の会話	宿題の解説会話練習	3課の復習
16	第4課 前置詞「在」、連動文、反復疑問文、年月日、曜日、時刻の解説	単語と文法解説	4課の単語と文法の確認宿題プリント
17	第4課 前置詞「在」、連動文、反復疑問文、年月日、曜日、時刻の音読	音読練習とテスト	音読練習総合問題とチャレンジ
18	第4課 前置詞「在」、連動文、反復疑問文、年月日、曜日、時刻の会話	宿題の解説会話練習	4課の復習
19	第5課 選択疑問文、助動詞「想」、「要」、省略疑問文、量詞の解説	単語と文法解説	5課の単語と文法の確認宿題プリント
20	第5課 選択疑問文、助動詞「想」、「要」、省略疑問文、量詞の音読	音読練習とテスト	音読練習総合問題とチャレンジ
21	第5課 選択疑問文、助動詞「想」、「要」、省略疑問文、量詞の会話	宿題の解説会話練習	5課の復習
22	第6課 形容詞述語文、比較、助動詞「能」、「可以」、100以上の数字の解説	単語と文法解説	6課の単語と文法の確認宿題プリント
23	第6課 形容詞述語文、比較、助動詞「能」、「可以」、100以上の数字の音読	音読練習とテスト	音読練習総合問題とチャレンジ
24	第6課 形容詞述語文、比較、助動詞「能」、「可以」、100以上の数字の会話	宿題の解説会話練習	6課の復習
25	後半の復習① 文法と練習問題の復習、音読テスト	復習提出物の確認	3課から6課までの復習
26	後半の復習② 試験問題の告知と質問	復習と試験内容の告知	3課から6課までの復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	授業内試験② 音読テストの準備	筆記試験	3課から6課までの復習
28	授業内試験の返却と講評音読テスト	講評音読テスト	音読テストの練習

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	履修する際に教科書の音声を各自ダウンロードすること。 20分以上の遅刻は欠席とする。 就職活動で欠席する者は事前に連絡すること。
-------------	--

科目名	JPN250: 日本語表現法				担当教員	河北 祐子
開講期	秋	開講時限	金 3 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウトアウト・ルームの双方で行う。後者の場合は話し合った内容について授業内で共有し、フィードバックを行う。教員の資料提出、学生の発表資料および課題提出は Loyola を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	① 授業態度：積極的な発言、責任ある授業参加をする。 30% ② 授業課題：課題を提出期限までに提出する。 20% ③ 小論文：ワードで作成し、学期末の指定期間内に MOODLE に提出する。 50%
評価基準	① 授業態度：他者の発言・発表を真摯に聴き、フィードバックする。 ② 授業課題：指示されたポイント、提出期限を守っているか。欠席した場合は MOODLE をチェックし、次回までに提出する。 ③ 小論文：授業で学んだ論文構成に従い、論文にふさわしい表現をしているか。信頼できるリソースを用い、他者の意見を自分の意見と区別し、自身の考察ができていないか。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	〔基礎編〕 よく使われる文の形、語と表現	講義、質疑応答、ペアワーク	教科書 1-8 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
2	引用、要約、句読点、表記規則実際の論文で確かめる。	講義、グループワーク、確認クイズ	8-22 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
3	〔論文編〕論文とは、論文の構成、構成の作り方、本論のまとめ方、論文で確認	講義、グループワーク、確認クイズ	24-42 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
4	書いてみよう①、3 種類の文 (FOA) 論文のモデル	講義、グループワーク、確認クイズ	43-50 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
5	〔論文編Ⅱ序論〕序論の役割、背景説明、事物の説明、先行研究の紹介等	講義、グループワーク、確認クイズ	51-60 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
6	問題提起、方向づけ、書いてみよう。	講義、グループワーク、確認クイズ	64-74 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
7	全体の予告 〔本論編〕本論の役割	講義、グループワーク、確認クイズ	75-83 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
8	論拠提示：データ提示、事柄データ	講義、グループワーク、確認クイズ	84-87 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
9	数量データ、文章データ	講義、グループワーク、確認クイズ	87-93 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
10	意見提示、データ解釈、考察	講義、グループワーク、確認クイズ	93-99 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	結論提示、行動提示、論の展開 〔論文編〕結びの役割、全体のまとめほか	講義、グループワーク、確認クイズ	100-132 頁を読んてくる。 タスク・練習問題をする。
12	序論、論拠発表会①	グループワーク、質疑応答	発表準備をしておく。
13	序論、論拠発表会② 提出小論文の書き方	グループワーク、質疑応答、講義	発表準備をしておく。 提出論文の書き方を確認。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	小論文講評	講義、質疑応答	授業のふり返り、まとめ

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	全国紙（新聞）、ニュース番組を通じて、日常的に社会事情に関心を払うこと。
-------------	--------------------------------------

科目名	SEF200: キャリアプランニング				担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	金5限	研究室	4202	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	①主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	-------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型授業となる。2回～13回は同窓生講師またはゲスト講師を1回につき1, 2名招いて講義を行う。講義中に Zoom のチャットを使って質問を受け付け、授業内で講師ができるかぎり質問に答える。授業中に随時グループワークなどを行い、Google フォームを使ってグループでの意見の書き込みを行い、他の学生とシェアする。 授業のリアクションペーパー、労働法の基礎知識の小テスト、キャリアプランの提出は Moodle で行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①リアクションペーパーを授業後に提出 (5%×13回=65%) ②労働法や社会の基礎知識に関する小テスト (15%) ③キャリアプランの作成 (20%)
評価基準	①リアクションペーパー：同窓生講師の話から学んだことや考えたことを適切な文でまとめているか ②小テスト：社会人として求められる労働法の基礎知識が身についているか ③キャリアプラン：書式・期限を守り現実的なプランを作成しているか

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、現代日本の女性のキャリアとライフコース	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習、リアクションペーパー①
2	同窓生講師①：外資系 IT 企業 森下：労働法について①	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー②
3	同窓生講師②：大手食品メーカー、育休 同窓生講師③：漫画制作、WEB デザイン	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー③
4	同窓生講師④：童英語教材開発 同窓生講師⑤：アメリカ在住、アメリカでの暮らしと教育	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー④
5	同窓生講師⑥：海外で日本語教師、JAICA 森下：労働法について②	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー⑤
6	同窓生講師⑦：編入、学校職員、大学院 同窓生講師⑧：就職、都市銀行役職者	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー⑥
7	同窓生講師⑨：民生委員としての活動 同窓生講師⑩：大手食品メーカー営業	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー⑦
8	ゲスト講師：少子高齢化をともに考える - 秦野市の公共施設更新問題 + 市役所での仕事とは	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー⑧
9	同窓生講師⑪：韓国語通訳 同窓生講師⑫：青年海外協力隊、JAICA	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー⑨
10	同窓生講師⑬：放送業界、アパレル、セラピスト 同窓生講師⑭：公立小学校での英語教育	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー⑩

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	同窓生講師⑮：英会話講師、自宅でレッスン 森下：編入、投資顧問会社、留学	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー⑪
12	同窓生講師⑯：転職経験、市役所勤務 森下：労働法試験とキャリアプランの説明	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー⑫
13	同窓生講師⑰：国立大学職員、スピーチライター 森下：日本社会とジェンダーの問題	講義、質疑応答、グループワーク	次回トピックの予習 リアクションペーパー⑬
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	女性のキャリアについて、同窓生の講義の振り返り、キャリアプランの講評	講義、質疑応答、グループワーク	振り返り

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	本講座は上智大学短期大学部ソフィア会（同窓会）の寄付講座であり、社会で活躍されている同窓生の方々がボランティアで講師をご担当下さるものである。担当する同窓生講師のご都合により担当者・内容・日時などが変更となる場合がある。変更は LOYOLA 授業掲示板で随時知らせる。
---------------------	--